

平成 30 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 JIG-SAW 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山川 真考  
(コード：3914 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 CFO 鈴木 博道  
(TEL. 03-6635-6657)

### 平成 29 年 12 月期連結業績の前年同期実績からの開示基準以上の増収増益に関するお知らせ

当社は、当社グループを取り巻く事業環境が大きく伸長することを鑑み、連結業績予想を非開示としておりますが、平成 29 年 12 月期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の業績が、前年同期の実績値に比較して開示基準を上回る増収増益となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 29 年 12 月期 業績と前年同期実績との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
前年同期実績 (A) (平成 28 年 12 月期)	百万円 1,110	百万円 255	百万円 253	百万円 183	円 28.34
今回発表業績 (B) (平成 29 年 12 月期)	百万円 1,296	百万円 325	百万円 330	百万円 262	円 40.10
増 減 額 ( B - A )	百万円 186	百万円 69	百万円 76	百万円 78	—
増 減 率 ( % )	16.8	27.3	30.3	42.8	—

#### 2. 前期実績との差異理由

当連結会計年度において、当社グループを取り巻く事業環境は、第 4 次産業革命と呼ばれる技術革新のなか、独自の基盤技術をベースとした IoE (Internet of Everything) の世界を支える取り組みを進めております。当社グループ事業の柱である自動運用をベースとした各種サーバを対象とするマネジメントサービスは、堅調な受注の積上げと低い解約率を維持、東証一部上場の形式要件の一つである利益の額を想定通りクリアし、次世代データコントロールのリーディングカンパニーとして確実に継続的成長を実現しております。また、当社グループが開発した最新 IoT モジュールの出荷も開始され、IoT デバイス (モノ) マネージ開始へ向けて着実に進捗しております。

米国シリコンバレーにおける IIoT (インダストリアル IoT) プラットフォームの先駆的企業である Litmus Automation, Inc. (米国:カルフォルニア州サンノゼ) とのコアパートナー提携や Convertible Note 引き受けを行うなど、具体的なグローバル展開を開始いたしました。また、ソフトウェアによ

て細胞をダイレクトに制御する再生医療分野における視覚再生プロジェクト (NEW-VISION) では、同プロジェクトで開発を進めている視覚再生用プリズムグラスに関して日本国特許庁より特許登録されるなど、本格的な事業化へ向けた取組みを開始いたしました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高 1,296,474 千円 (前連結会計年度比 16.8%増)、営業利益 325,353 千円 (前連結会計年度比 27.3%増)、経常利益 330,519 千円 (前連結会計年度比 30.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 262,337 千円 (前連結会計年度比 42.8%増) となりました。

以上